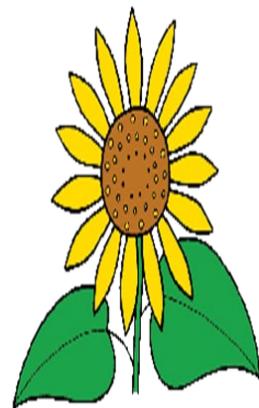
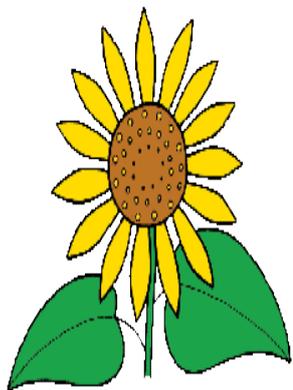


Life  
Support  
TEDAKO

QSK 令和4年5月 No.236 発行部数 2,000 部  
NPO 法人ライフサポートてだこ 代表/嵩原 満  
〒901-2126 沖縄県浦添市宮城 3-13-12  
Tel. 098-875-2557 Fax. 098-875-2666  
E-mail: lstedako@yahoo.co.jp HP: http://www.lstedako.com/

# ひだまり通信

小規模多機能ホームあん うれしい活動開始!!



沖縄のおじいおばあは平和の大切さを良く知っています。今も未来も平和であるんだよ!! あんでは今年度目標の一部、畑プロジェクト、清掃活動が始まりました。梅雨の季節になりましたが、少しずつでも楽しみながら進めていきます!! そして美味しい野菜を頂き販売したいのです。

まずはあんから掃除  
はじめています。日  
光浴も大切です。



おそうじタイム



畑耕し大変なので職  
員や利用者さんと  
交代しながらゆっく  
り進めていきます。

ぜひ

ひだまり通信ご愛読者様、ご連絡を!

毎月ひだまり通信のご愛読を感謝いたします。  
今後も配信ご希望の方は、下記のいずれかの方法  
で返信のご協力をお願いいたします。

締め切り日 令和4年5月31日(火)

- 電話: 098-875-2557
- FAX: 098-875-2666
- メール: [lstedako@yahoo.co.jp](mailto:lstedako@yahoo.co.jp)

ご連絡のない場合、誠に勝手ながら次号より配信  
終了とさせていただきます。ご了承くださいm( )m

☆☆ 求人募集 ☆☆

主任介護支援専門員、介護支援専門員、  
保健師・看護師、社会福祉士

勤務時間: 8時30分~17時30分

休日: 土・日・祝日・その他

賃金: 205,000円 ~ 300,000円 (交通費別)

いつか居宅介護支援(ケアマネ)で起業を考えてい  
る方も一度遊びに来てください!!

※↓こちらも募集してます↓※

☆児童デイサービスこっこ 児童指導員

☆小規模多機能ホームあん 介護士

お問い合わせ: 098-875-2557 (泉水)

# 相談支援センターふわり

おかげ様で当センターは、今年で7年目になります。  
これからも地域に根差した支援ができるよう邁進してまいりますので、よろしくお願ひします。

## ◆◇相談支援事業所とは◇◆

障害のある人等からの相談に応じ、障害福祉に関する様々な情報提供や、そのサービスを利用するための計画書の作成・相談などを行うサービス事業所です。

## ◆◇相談支援専門員の仕事◇◆

### ○基本相談支援

障がいのある人等からの相談に応じ、情報提供や市町村や福祉サービス事業所の連絡調整を行います。

### ○福祉サービス等利用計画の作成

福祉サービスを利用するための計画書を作成し、サービスを使えるよう市町村に申請します。

市町村から受給者証が発行された後にサービス事業者と本人(家族)を含めて利用開始の面談を行います。

### ○継続サービス利用支援(モニタリング) ※市町村で決められた月に行う面談

サービスの利用状況の確認をし、利用内容の見直しを行い市町村へ報告します。

## ♪スマイル通信♪ From テイサービスセンターえん

### 🍣🍣 みんなで楽しくすしぜんまい 🍣🍣



コロナ禍になり約2年…えんでは毎年恒例だった初詣や、イチゴ狩りなどの外出イベントが出来ずにいます。

そんな中、違う方法で楽しんでもらえることはないかと考えた結果…寿司パーティーを開催することに～🍣

ネタは、マグロ、カンパチ、サーモン、ウニ、玉子！！  
久々のお寿司に皆さん大喜びで、なんとおかわりまで😊

次はどんなパーティーしようかな～～🗨️



Check !!



DAYSERVICE\_ENN

Instagramも絶賛更新中！  
フォローお願いします🌸

美味しそうな顔してくださいとお願ひしたら…😊

## こっこのは・な・し

### ✦ 新学期スタート!! ✦

春休みも終わり、新学期が始まっています。学年が上がり新しい学校やクラスにドキドキワクワクですね。緊張や不安もありますが、少しずつ慣れて元気いっぱい過ごして欲しいですね! 学校終わりのこっこも、元気いっぱい過ごせるようみんなで楽しもう!

今年度もよろしく!



新1年生で一す!!!



## オレンジめーる

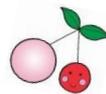
By ヘルパーステーションりん

### 職員紹介

4月に入社しました大城かおりです。  
昨年1年間特別養護老人ホームに勤めていました。  
同じ介護職でも全く違う職種みたいで新鮮です。  
人見知りなところもありますが、事務所に入ると  
みなさんキラキラした笑顔で迎え入れて下さるので  
安心してできます。

介護の仕事は大変なことも多いですが、学ぶことも  
多く、経験や知識も得ることができるので自己成長  
に繋がっていると思います。

これからも日々成長していけるよう心がけていきたいと思っています。



## 嵩原満のただいまタイトル考案中(@\_@)

初めまして嵩原です。

2002年(平成14年)にライフサポートてだこが設立され20年が過ぎました。私も20年この組織にお世話になっていることとなります。3.5インチのFD(フロッピーディスク)くらいの、ちっぽけな容量でも余るくらい、しかもカッコつけて少しでも脚色し人様にお話ししようものなら、完全に空想人物の虚構にすり替わってしまうくらいの、うす〜い物語しかありませんが、出会い別れ、苦しいこと楽しいこと、悲しいこと嬉しいこと、始まりの終わり…ちょっとだけ感慨深いものがあります。

介護の世界に足を踏み入れ、仕事というステージに立ち人生の半分以上が経過しています。そこに立った当時は人生80年という言葉を目にしていたので、小学、中学、高校、大学・専門学校を卒業して20年、学んできたことをベースに経験を重ね、職を全うし40年、その貯えと年金を受給しながら可愛い孫の相手をしながら老後を過ごす20年…みたいな通説の物差しで寸分たがわぬ間隔の壁で仕切り、帳尻が合うようにライフプランを調整し、その決まった容量の壁と壁の間に入れ込み設計していました。給与を頂いた翌日から次の給与日まで果てしない日々を指折り数え絶望などを感じていた私ですから、時代なんてそう足早に過ぎていくものでもないし、私の人生80年でそう大きく変わらない。とにかく通説で建設された壁はそうそう動かないし「人生80年って少し長くねえ?もうちょっと短くても…」なんて考えていました。しかし、数年前から、医学医術の進歩、公衆衛生活動の発展、経済・所得水準の向上、社会保障の充実等、様々の要因から「人生100年時代」なんて言葉を耳にするようになり、この介護の世界も困っていることに注目しサービスを提供していた時代から、介護をできるだけ必要としないよう予防することに重点をおいたシステムにかわりました。2007年以降に生まれた方は50%が100歳近くまで生きると推測されているようです。私がガキ(あえてそう表現させていただきます)だったころ30、40代の方に「おじさん!おばさん!」50代、60代の方に「おじい!おばあ!」などと悪態をついていました。ちなみに私は最近、事務所前の歩道を歩くお子様に「じじい!」なんて言われましたが…。現在、ライフサポートてだこでも幅広い年齢層の仲間とともに時間を過ごしていますが、ガキの頃の視野に写っていた50代、60代と今とでは「ポンコツになっている!」「もう走れない!」などと口に出してはいますが明らかに違います。そんな仲間を見ていると生涯現役で、本当に人生100年時代が到来するのではと感じさせられます。

人生100時代の到来とともに、教育、勤労、引退という単なる3サイクルの壁は、拡張性、柔軟性のあるスライド式のパーテーションと変わりライフプランに対する価値観が大きく変化します。この組織にお世話なって20年、人生80年の物差しで測れば、あと20年。人生100年の物差しで測れば、あと40年。もちろん価値観が変わっていなければの話ではありますが…。その前に組織として人生100年時代を迎えるにあたり何ができるのか考えさせられます。こんな拙い文章をひだまり通信に載せていいのかわかりませんが、ライフサポートてだこのことは応援よろしくお願ひします。

最新情報はライサポホームページをCHECK! ⇒⇒⇒



LINEはこちら⇒⇒

